

標準委員会 システム安全専門部会 シビアアクシデントマネジメント分科会  
第4回シビアアクシデント マネジメント分科会議事録

1. 日 時 2012年3月14日 (水) 9:30～12:00
2. 場 所 仏教伝道会館 7階 見
3. 出席者 (敬称略)  
(出席委員) 岡本主査, 杉山副主査, 河井幹事, 阿部委員, 出町委員, 守田委員, 井田委員, 及川委員, 織田委員, 倉本委員, 黒岩委員, 柴本委員, 鈴木委員, 竹越委員, 西委員, 廣川委員, 増田委員, 松本 (桶永委員代理)  
(20名)  
(常時参加者) 伊藤, 清時, 佐藤, 中野, 吉田, 森本, 宮川, 西川  
宮本, 池田, 村田  
(14名)  
(オブザーバ) 加納, 曾根田, 橋本  
(傍聴者)  
(敬称略)

4. 配付資料

- S2SC4-1 第3回議事録(案)
- S2SC4-2 システム安全専門部会への進捗状況報告の結果
- S2SC4-3-1 4章と5章のマージ案
- S2SC4-3-2 SAM標準の骨子 (案) (改2)
- S2SC4-3-3 骨子 (案) とIAEA NS-G-2.5の対比 (改2)
- S2SC4-3-4 SAM分科会のグループ分けと分担
- S2SC4-4-1 SAM実施基準 (案) 3章
- S2SC4-4-2 SAM実施基準 (案) 6章
- S2SC4-4-3 SAM実施基準 (案) 7章
- S2SC4-4-4 SAM実施基準 (案) 8章
- S2SC4-5-1 SBO 民間規格ドラフト
- S2SC4-5-2 SBO 民間規格 (案) の位置付け
- S2SC4-6 シビアアクシデントマネジメント分科会のスケジュール (案)

参考資料

- 参考-1 第3回議事メモ (案)
- 参考-2 シビアアクシデントマネジメント分科会 委員及び常時参加者
- 参考-3 内部溢水PSA分科会名簿

参考-4 S2SC3-4-3 参考1 シビアアクシデントマネジメントの基本方針（案）

5. 議事内容

議事に先立ち、開始時点で委員 21 名中 20 名が出席しており、分科会成立に必要な定足数を満足している旨が報告された。

(1) 前回議事録確認（S2SC4-1）

河井幹事より、S2SC4-1「第3回議事録（案）」を用いて、第3回分科会の内容について確認が行われた。確認の結果特にコメントは無く、議事録は正式に承認された。

(2) システム安全専門部会への進捗状況報告の結果（S2SC4-2）

河井幹事より、S2SC4-2「システム安全専門部会への進捗状況報告の結果」にてシステム安全専門部会への進捗状況報告について説明があった。

(3) SAM 実施基準案の審議

a. 河井幹事より、S2SC4-3-1「4章と5章のマージ案」について説明があり、以下のような審議があった。

- ・4.1の主文については、IAEAのAM目的である5つの項目を強調するように修文する。
- ・4.8は評価ではなく有効性を確認することが目的である。4.8は誰がレビューするのか、明示する。
- ・4.5と4.6はマージする。
- ・4.9の教育・訓練は、DoなのかCheckなのか明らかにわけのではなく、Checkの実効が重要であり、PDCAをはっきりと意識することが重要である。
- ・ユニット間の独立性の記載は、4.4と4.6は、同じことをプラントとユニットで書いている。マージしても良いか検討する。

b. 増田委員より、用語の定義について、資料 S2SC4-4-1 にて用語の定義の記載について説明があり、以下のような審議があった。

- ・AMを最初に定義し、それを使用する。SAMは標準のタイトルのみとなる。SAMは可能な限り使用しない。

c. 倉本委員より、第6章文案として、資料 S2SC4-4-2 にて発電所の脆弱性の抽出について説明があり、以下のような審議があった。

- ・マルチサイトについての考慮を入れる必要がある。また、PRAのレベル（PRAの範囲）については、6章で定義する。

- ・発電所の体制面の話は、注記として書いておく必要がある。全ての事象、運転時、定検時について、4.2 章との整合性をとり、箇条書きとする。
- d. 及川委員より、第 7 章文案として、資料 S2SC4-4-3 にて発電所対応能力の同定について説明があり、以下のような審議があった。
- ・第 7 章は、全体を見ているため、特に要員は 1, 2 号機共通という面もあり、サイト固有の問題と考える。
  - ・方針を整理し、6 章と 7 章をその後マージするか確認する。
- e. 黒岩委員より、第 8 章文案として、資料 S2SC4-4-4 にてアクシデントマネジメント対応方策の検討について説明があり、以下のような審議があった。
- ・複数プラント同時被災の話は各章で共通の問題である。
  - ・4 章の 4.10 でまとめることも付け加える。他プラントの解析事例も参照して良い。PDCA 全体に係わる内容として書くことも考えられる。
  - ・V&V もどこかで書くことも重要である。これを 4.11 とするか附属書とするか別途議論するが、解析評価として特出した章を作る方が良い。
  - ・長期の安定対策は 8 章で出てくるが、6 章や 7 章では長期安定性は切り離して考える。
- f. 全般
- ・附属書参考が 6 章では必須となり、附属書 6 章を優先的に作ってほしい。6 月には議論したい。また、具体的な文面でバージョンアップもので、6、7、8 章をブラッシュアップする。
- g. 加納オブザーバより、資料 S2SC4-5-1 にて SBO 民間規格ドラフトについて説明があった。また、岡本主査より資料 S2SC4-5-2 にて SBO 民間規格（案）の位置付けを補足され、以下のような審議があった。
- ・SBO 民間規格ドラフトの 4 章、5 章は SAM 実施基準案の参考となる。SBO 民間規格の位置付けは、もう少し分科会の進捗状況を見てからの対応とする。

(7) スケジュールについて

次回分科会は 4/18PM、次々回分科会は 5/16PM に実施する。

(その後の再調整で 5/23 午後となった。)

以上